

2017年度 出雲医療生活協同組合 生協法人になって10周年!

医療・介護・保健を組合員が支える医療生協。おかげさまで10年目を迎えました。

第4弾 生協創立の歩みについて

出雲医療生活協同組合は、2006年9月に生活協同組合法に基づく新たな法人「出雲医療生活協同組合」を立ち上げました。そして翌年2007年4月より出雲市民病院などの事業所を率いて生協運営を開始しました。今年は事業開始より満10年を迎えることができました。

それまでは医療法に基づく「出雲労働者健康組合」という医療法人でした。そして患者さんや地域の方は「出雲市民病院友の会」（以下、「友の会」）という会員組織で、班会や交流活動をする任意団体でした。年1,000円の会費を集め、レクリエーションなど緩やかな組織で、病院の応援団体として翌年2007年4月より出雲市民病院などの事業所を率いて生協運営を開始しました。今年は事業開始より満10年を迎えることができました。

新しい出雲市民病院の移転新築（2001年）を取り組んだ経験と、友の会・社員・職員の共同の運動を通じて、住民参加の組織である「医療生協」になることをめざしました。2007年4月より生協法人として事業を始めることになりました。

医療生協は、組合員の生活とくらしの向上のため助け合い、支え合う組織です。そして、生協の事業（病院や診療所、施設など）を利用、運営する組織です。

組合員のみなさんには出資をお願いしています。出資金は、病院などの機器購入や環境整備だけでなく、生協のさまざまな活動（学習会や班会、健康教室、交流会など）に利用されます。

出資金が多くあることは事業を安定して運営できる財務資産にもなります。

すこやか NEXT

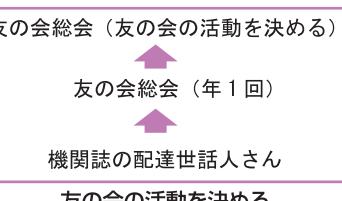
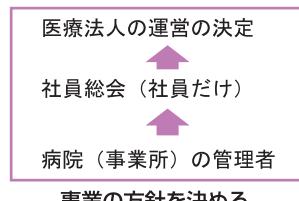
2017年
6月すこやか増刊号
発行
出雲医療生活協同組合
〒693-0021
出雲市塙治町1536-1
TEL (0853) 21-2735
ホームページ
www.izumo-hewcoop.jp



医療法人時代の友の会との違い

医療生協になるまでは、医療などの事業の運営は少数の社員という方が決定する仕組みで、主に職員だけで決めるものでした。友の会は年1回友の会総会を開催していましたが、主に会員同士の交流や独自の活動を相談していました。友の会は病院や診療所の応援的な組織でしたが、病院などの運営に参加する仕組みはありませんでした。

一方で、出雲市民病院の建設運動では多くの友の会員のみなさんや職員が一緒にになって病院づくりを進めました。この共同の力を今後の運営にいかすことをめざして、友の会員のみなさんが参加して頂く組織づくりを進めました。結果「生協法人」になることができました。



医療生協の理念

**健康をつくる。平和をつくる。
いのち輝く社会をつくる。**

そのために地域まるごと健康づくりをすすめます。地域住民と医療や福祉の専門家が協同します。

多くのひとびとの参加で、地域に協同の“わ”をひろげます。



医療生協連雑誌 COMCOM
2007年1月号より



理事長
象谷 幸正

利用

生協の事業所は、組合員さんの利用が基本となっています。ただし、利用とは単に病院や診療所の患者さんとして受診するだけでなく、生協の諸活動（班会、交流会など）に参加することもあります。組合員相互のつながりづくりは、これからの時代大事になっています。

運営

組合員の方は生協の総代会（通常、年1回）に参加できる権利があり事業運営に参加できます。但し、株式会社と違い、一人1票制度で、出資金の額に左右されません。これは医療や福祉が営利目的となっていないためで、公平に運営することが求められています。

その他、事業所の利用委員会など様々な場面で生協運営に参加頂くことを理念としています。

1961年に「出雲市民病院」が開院されました。その後、1977年に「出雲市民病院」が完成しました。この病院は、当時の「出雲市民病院」の前身である「出雲市民病院」（昭和44年）と、1977年に完成した「出雲市民病院」（昭和27年）の2つの病院で構成されています。



※友の会設立総会（昭和44年、大田志学小学校にて）

1977年に「出雲市民病院」が完成しました。この病院は、当時の「出雲市民病院」の前身である「出雲市民病院」（昭和44年）と、1977年に完成した「出雲市民病院」（昭和27年）の2つの病院で構成されています。



※昭和27年（1952年）の出雲市民病院

第1期 出雲勤労者健康管理中心の設立

出雲医療生協の歴史について、過去の歴史を含めてご紹介します。

第3期 老朽化した出雲市民病院を移転新築する事業を

出雲市民病院は開設が早かった分、施設の老朽化が進んでいました。当初はその地でリニューアルする案もありましたが、土地が狭いため病室を新しく法律の基準にするには建て替えが必要となる状況でした。

その中に、島根県民主医療機関連合会の援助も受け、新たな土地（旧出雲女子高跡地）に新病院を建設することになりました。

島根県民主医療機関連合会の投資による新病院は、2006年8月に現在の出雲市民病院を開設するに至りました。

出雲市民病院は、2006年8月に現在の出雲市民病院を開設するに至りました。当初はその地でリニューアルする案もありましたが、土地が狭いため病室を新しく法律の基準にするには建て替えが必要となる状況でした。

第4期 友の会の方を迎えて生協法人に転換を

新しい病院建設を通じて、ボランティアなど多くの市民の方々の参加を得ることができました。その中で、友の会の方が主人公となる法人組織である「生協法人」に転換をめざすことになりました。これまでの友の会と合同でも開催することになりました。

会の会の方が主人公となる法人組織である「生協法人」に転換をめざすことになりました。これまでの友の会と合同でも開催することになりました。

2006年8月に現在の出雲市民病院を開設するに至りました。

第二出雲市民病院の建設計画で医療事業を拡大することになりました。この新病院では、新たに透析医療を広げるのが難しかったからです。第二出雲市民病院では、新たに透析医療を拡大し、患者さんの便宜を圖るために、外外科医療も拡大し送迎バスも設けました。大学より外科医の派遣を受けて、外科医療も拡大してきました。



※友の会設立総会（昭和44年、大田志学小学校にて）

島根県民主医療機関連合会の援助も受け、新たな土地（旧出雲女子高跡地）に新病院を建設することになりました。この新病院は、2006年8月に現在の出雲市民病院を開設するに至りました。



※昭和27年（1952年）の出雲市民病院

第5期 その後10年余の歩み

組合員数	出資金（万円）
2001年 4,540	無
2007年 8,499	31,000
2016年 14,000	37,887

班会	世話人
2003年 125	330
2007年 123	424
2016年 848	674

医療生協創立10周年企画を計画中！

①健康フェスタ（組合員活動・班活動の参加企画）

日時 9月30日（土）10時～14時
場所 朱鷺会館（出雲市西新町）

企画 健康企画、支部・班活動ブース企画、ステージ企画

※手作りの支部・班の活動の紹介をお願いしています。
※記念「すこしお味噌」「すこしお醤油」を販売します。

②10周年記念の減塩をした「すこしお味噌」、「すこしお醤油」の販売

「すこしお」活動を地域に広げます。

③憲法学習会「落語で憲法改憲の中身を学ぶ」

日時 7月29日（土）13:30～
場所 ピッグハート出雲・白のホール
講師 八法亭みややっこ（飯田美弥子弁護士・八王子法律事務所）

④生協を学ぼう企画！

医療福祉生協連の通信講座を受講し、生協を学びませんか？

受講して卒業された方には受講料を全額補てんします。

⑤その他の企画

○「けんこう川柳」を募集します。

健康に関する「クスッと笑える、元気でのる！」川柳を募集

出雲医療生協けんこう川柳係まで

8月31日締切 表彰品あり

今後のビジョン

出雲医療生協では「2020年ビジョン」として、以下の課題を大きく地域で取り組むことを考えています。

- ①地域包括ケアを支える事業所づくり（病院や診療所の役割を在宅への復帰支援、在宅での療養支援をすること）をすすめます。
- ②支部で地域の中でみえる生協活動を進めること。組合員さんの困ったことなど相談や支援ができる活動をめざします。
- ③健康づくりを生協のブランドにしていきます。

地域でも支部を主体にした生協のいろんな活動が広がってきました！

生協では組合員さんが主体となっていろいろな活動に取り組まれています。地域支部での活動が広がってきました。



※支部での健康づくり活動が旺盛に取り組まれています！（健康体操の取り組みにより）



※大津支部主催の「介護保険学習会」の取り組み（地域向け公開企画）



※3体操（乙立支部、乙立社協、恵友会の共催で開催されました。）



※朝山みみず班のガードレール清掃作業



地域への奉仕活動として取り組まれました。町内の8割が組合員さんということが力になっています。